

ジェネリックかえたろうコラム その①

に

☆"かえたろうコラム"では、より多くの組合員とご家族の皆様にジェネリック医薬品への関心を持っていただくため、毎号の広報誌でジェネリックかえたろうからジェネリック医薬品についてお知らせしています。



ジェネリック医薬品は先発医薬品に比べて約2～7割のお代(薬剤費)になります。
その金額差は薬の種類と服用期間により異なりますが、生活習慣病など長期間服用するような方にとっては、とても強い味方になるでしょう!

ジェネリックに替えるだけでこんなに差額が発生します

糖尿病
(3錠/1日 365日服用の場合)

[先発医薬品]
3割負担 12,548円/年

[ジェネリック薬]

5,453円/年

差額
7,095円

高血圧
(1錠/日 365服用の場合)

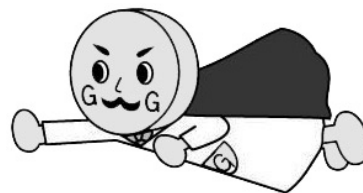
[先発医薬品]
3割負担...7,281円/年

[ジェネリック薬]

1,335円/年

差額
5,946円

病院にかかる費用だけでもご家庭の負担となっているかと思います。
そこで、お薬をジェネリック医薬品に変更するだけで医療費の大幅な節約になるのです。



□ジェネリック医薬品 (またはジェネリックかえたろう) について質問などがございましたら、保険課までご連絡ください! TEL088-823-3214 (保険医療係)

ジェネリックかえたろうコラム その②

に

☆"かえたろうコラム"では、より多くの組合員とご家族の皆様にはジェネリック医薬品への関心を持っていただくため、毎号の広報誌でジェネリックかえたろうからジェネリック医薬品についてお知らせしています。



⚠ ジェネリック医薬品(後発医薬品)と新薬(先発医薬品)の違いは大きく分けて4つあります。

- ① 形や大きさ
- ② 色
- ③ 味
- ④ 添加剤など

これらは厚生労働省によって新薬との違いが認められているところです。

反対に、有効成分の種類・量は同じでなければいけません。



つまり、お薬の効果や安全性は新薬と同等であることがいえるのです

※厚生労働省による厳しい試験をクリアしています。

ジェネリックに変えると、価格は2～5割まで抑えられます。
ご家庭での医療費削減はもちろんのこと、国民全体の医療費削減にもつながるのです。



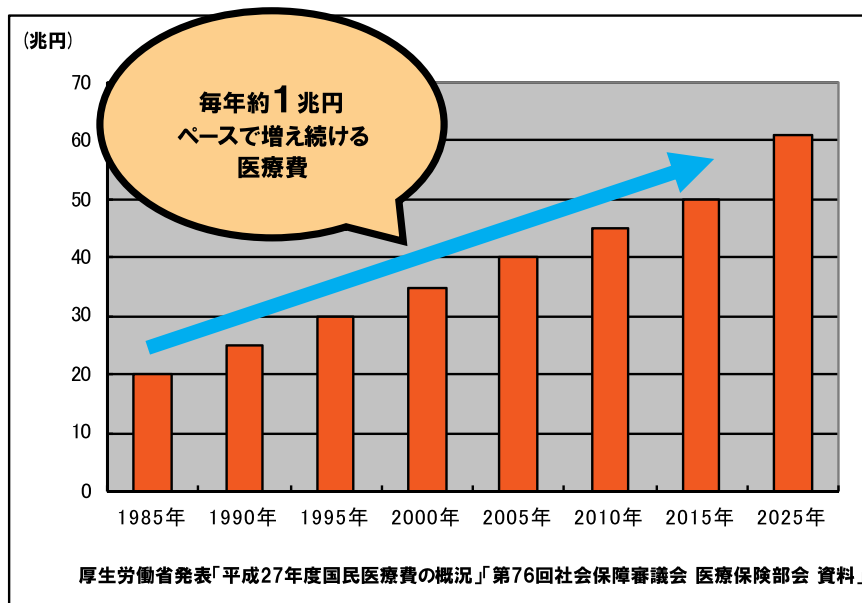
□ジェネリック医薬品（またはジェネリックかえたろう）について質問などがございましたら、保険課までご連絡ください！TEL088-823-3214（保険医療係）

ジェネリックかえたらうコラム その③

に

日本の医療費は年々膨れ上がっています。

皆保険制度維持のために、私たちにできることから、医療費の増大に歯止めをかけていく必要があります。



ジェネリックで医療費(薬剤費)を抑える！

当組合の組合員及び被扶養者が平成29年9月～平成30年3月診療分において

すべてジェネリックに切り替えたとして試算してみました。

変更可能な薬剤を全て
ジェネリック医薬品にすると…

**自己負担が
1,200万円節約！**

ジェネリック希望シ
ールをご希望の方は
共済組合までぜひ
ご連絡ください♪

□ジェネリック医薬品（またはジェネリックかえたらう）について質問などがございましたら、保険課までご連絡ください！TEL088-823-3214（保険医療係）

ジェネリックかえらるうコラム その④



全国市町村職員共済組合連合会集計

直近の利用率は全国最下位になってしまいました。みなさま1人ひとりのご協力で少しでも利用率を上げていきたいと思ひます。

今年度より、ジェネリックを使用してくれた方に対しての特典を提供を準備中ひです。詳しくは次号で発表いたします。



構成組合	H29. 12末 実績	H30. 4末 実績	H30. 10末 実績
北海道	72.1	73.7	77.9
青森県	69.7	72.4	74.6
岩手県	77.9	79.9	82.9
宮城県	74.2	75.8	78.5
秋田県	71.3	74.5	77.8
山形県	74.1	76.3	79.0
福島県	71.6	75.1	77.7
茨城県	72.3	72.3	76.5
栃木県	71.0	73.2	76.6
群馬県	72.6	73.9	78.1
埼玉県	72.0	72.5	76.1
千葉県	72.1	73.6	77.0
東京都	72.2	72.9	76.2
神奈川県	69.2	70.2	73.4
山梨県	64.0	63.3	69.7
新潟県	73.2	75.6	79.0
富山県	74.8	77.5	81.0
石川県	72.6	75.6	78.3
福井県	73.6	75.1	78.2
長野県	74.1	76.3	78.7
岐阜県	70.4	71.4	74.9
静岡県	73.3	74.9	78.1
愛知県	73.7	75.1	78.6
三重県	71.1	72.8	76.1
滋賀県	71.4	74.1	76.9
京都府	70.2	71.9	74.0
大阪府	68.4	69.7	72.5
兵庫県	70.5	72.2	74.5
奈良県	70.8	72.5	75.1
和歌山県	66.9	69.5	72.7
鳥取県	74.3	75.4	78.9
島根県	73.7	74.7	77.4
岡山県	72.0	73.2	75.5
広島県	69.6	71.7	75.1
山口県	74.0	75.4	78.9
徳島県	64.5	62.8	68.5
香川県	69.2	70.4	75.5
愛媛県	71.2	74.0	74.0
高知県	64.3	63.7	67.9
福岡県	72.4	73.8	77.7
佐賀県	76.5	78.0	81.5
長崎県	73.1	75.0	78.3
熊本県	72.8	74.6	77.9
大分県	71.1	73.8	75.8
宮崎県	76.9	79.0	80.8
鹿児島県	79.3	80.2	83.2
沖縄県	83.7	84.6	87.0

ジェネリックかえたろうコラム その⑤

に

~今までどおり、将来も医療を安心して受けていくために。~

現在、国民皆保険制度は危機に瀕しています。

高齢化と医療の高度化に伴い、医療費が膨らみ続ける日本。このままでは医療保険制度そのものが維持できません。



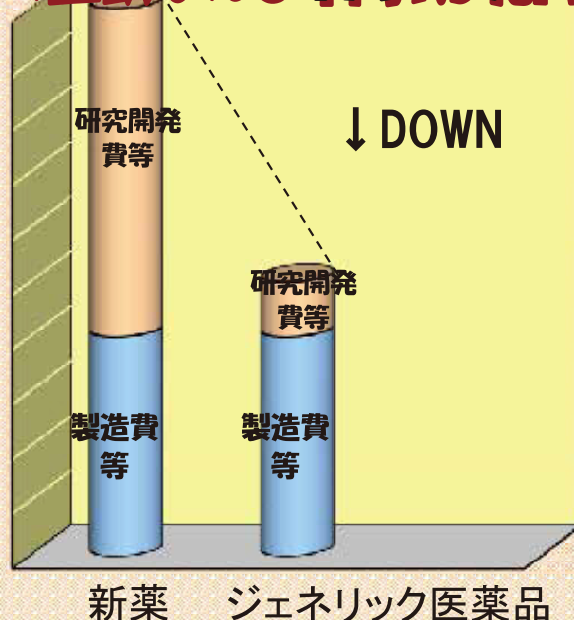
このままでは
まずいぞな…(´・w・`)

ぜひジェネリック医薬品
をご利用ください



ジェネリック医薬品を皆が使えば、医療費を減らせます

その金額なんと年間1.3兆円も!!



❀【かえたろうコラム】では、より多くの組合員とご家族の皆様へジェネリック医薬品への関心を持っていただくため、毎号の広報誌でジェネリック医薬品情報をお知らせしています。❀

に ジェネリックかえたろうコラム

皆さまお待たせいたしました！令和 1 年 10 月号の広報より休止しておりました、【かえたろうコラム】が久しぶりの登場となります！組合員及びそのご家族の健康のため、ジェネリック医薬品を推進していきますので、よろしくお願いします。



ジェネリックかえたろうです！
ジェネリック医薬品に関するお役立ち
情報を皆さまへお届けしますね。

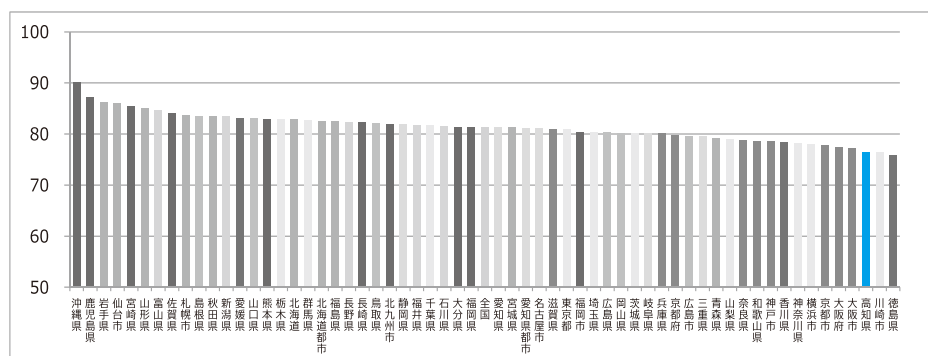
ジェネリック医薬品とは…？

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、新薬（先発医薬品）を開発した製薬会社とは異なる製薬会社から、新薬と同様の有効成分を使った薬のことで、新薬よりも低価格で購入することが可能です。身体にも財布にも優しいお薬ですね！

ジェネリックかえたろうコラム

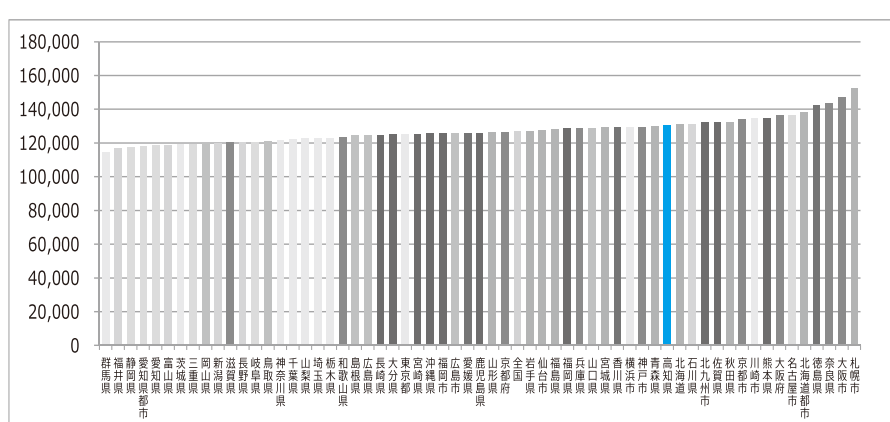
今回は、令和2年9月末時点でのジェネリック医薬品使用割合が更新されましたので、お知らせします！これは、全国にある市町村職員共済組合及び指定都市共済組合の組合員及び被扶養者が、どのくらいジェネリック医薬品に切り替えたかが分かるようになっています。

高知県はなんと・・・、
下から数えて3番目！
かなり厳しい結果です
ね。四国4県で見ても
、愛媛県はかなり
健闘していることがわ
かります。



次は、加入者 1 人当たりの医療費の金額を比べたものを見てみましょう！

これは 2019 年度のグラフですが、高知県は 1 人当たりの医療費の金額が 12 万円を超えており、全国的に見て上位にランクインしていることがわかりますね。



1人当たりの医療費の
金額が高いということ

は、各ご家庭の支出も圧迫することになりますし、健康的な生活を送る上でも弊害が出てきてしまうかもしれません。

そこで、家計の手助けをするためにも、積極的にジェネリック医薬品に切り替えてみてはどうでしょうか！

病院を受診したら、処方箋をもらって
近くの薬局にかかることが多いですよ
ね！身体にもお財布にも優しいジェネ
リック医薬品に切り替えて、健康的な
生活を送りましょう！！



に ジェネリックかえたらうコラム

今回は、令和 2 年 4 月診療分と令和 3 年 4 月診療分とのジェネリック医薬品使用割合を比較してみました。昨年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響により、初めて緊急事態宣言が発令されたこともあって医療機関への受診控えもありましたので、単純比較は難しいと思いますが…。

まずは、令和 2 年 4 月診療分を見てみましょう！

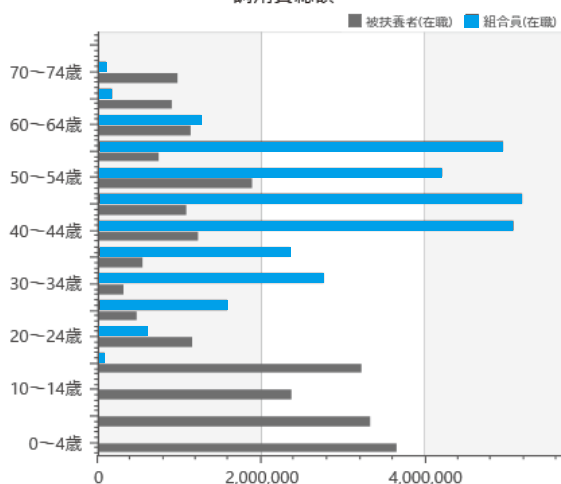
調剤費

年齢区分	合計			組合員			被扶養者		
	件数	調剤費 総額	1人あたり 調剤費	件数	調剤費 総額	1人あたり 調剤費	件数	調剤費 総額	1人あたり 調剤費
0～4歳	723	3,647,700	2,208	0	0	0	723	3,647,700	2,208
5～9歳	432	3,323,250	1,963	0	0	0	432	3,323,250	1,963
10～14歳	250	2,355,770	1,369	0	0	0	250	2,355,770	1,369
15～19歳	175	3,283,890	1,917	11	66,230	662	164	3,217,660	1,995
20～24歳	172	1,724,000	1,275	87	587,910	851	85	1,136,090	1,719
25～29歳	199	2,050,770	1,530	154	1,579,610	1,338	45	471,160	2,963
30～34歳	297	3,065,760	1,922	256	2,755,730	1,922	41	310,030	1,926
35～39歳	274	2,880,460	1,964	225	2,340,380	1,853	49	540,080	2,647
40～44歳	391	6,303,220	3,473	341	5,083,680	3,248	50	1,219,540	4,878
45～49歳	530	6,257,870	3,110	458	5,184,980	2,941	72	1,072,890	4,309
50～54歳	447	6,080,470	4,148	366	4,200,590	3,339	81	1,879,880	9,038
55～59歳	498	5,693,310	4,353	425	4,960,210	4,465	73	733,100	3,721
60～64歳	212	2,377,820	5,479	135	1,246,500	5,396	77	1,131,320	5,573
65～69歳	73	1,058,300	7,957	13	166,990	5,387	60	891,310	8,738
70～74歳	73	1,043,990	7,007	4	83,920	6,455	69	960,070	7,059
75歳以上	1	1,900	1,900	0	0	0	1	1,900	1,900
合計	4,747	51,148,480	2,577	2,475	28,256,730	2,655	2,272	22,891,750	2,486

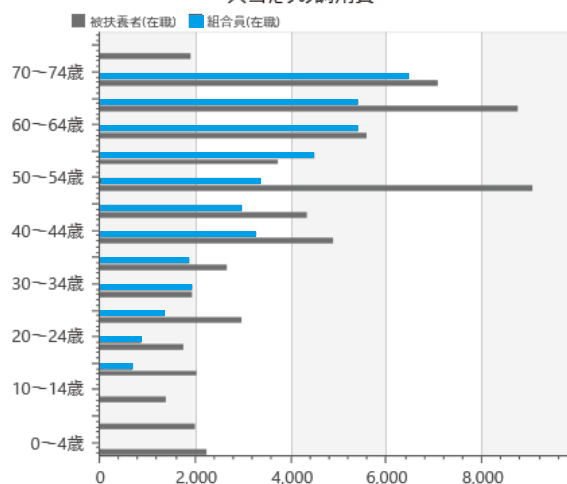
後発医薬品の使用割合

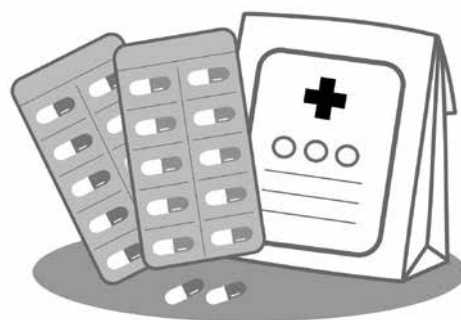
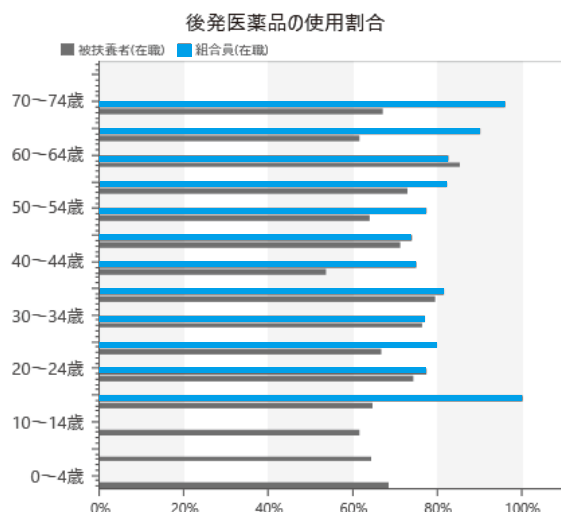
年齢区分	合計			組合員			被扶養者		
	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合
0～4歳	521	68.34%	42.28%	0			521	68.34%	42.28%
5～9歳	280	64.29%	32.59%	0			280	64.29%	32.59%
10～14歳	150	61.25%	35.90%	0			150	61.25%	35.90%
15～19歳	111	65.50%	42.34%	7	100.00%	100.00%	104	64.51%	41.88%
20～24歳	111	75.68%	60.42%	63	77.38%	61.13%	48	74.26%	59.59%
25～29歳	139	75.69%	53.95%	111	79.61%	70.34%	28	66.58%	28.64%
30～34歳	206	76.89%	43.53%	178	77.00%	44.23%	28	76.26%	40.05%
35～39歳	202	80.87%	38.41%	170	81.23%	37.48%	32	79.23%	42.02%
40～44歳	264	71.17%	45.21%	229	74.86%	54.96%	35	53.35%	16.43%
45～49歳	372	73.40%	49.70%	324	73.95%	50.67%	48	71.02%	45.52%
50～54歳	295	74.68%	53.14%	246	77.37%	54.25%	49	63.94%	48.49%
55～59歳	372	80.58%	61.44%	316	82.13%	62.24%	56	72.91%	56.87%
60～64歳	160	83.43%	51.60%	102	82.28%	61.24%	58	85.01%	43.42%
65～69歳	59	65.34%	42.64%	11	89.98%	67.38%	48	61.45%	39.93%
70～74歳	57	69.40%	47.01%	4	95.79%	97.35%	53	66.89%	41.96%
75歳以上	0	0.00%	0.00%	0			0	0.00%	0.00%
合計	3,299	73.96%	47.47%	1,761	78.32%	53.90%	1,538	67.61%	39.27%

調剤費総額



一人当たりの調剤費





組合員のジェネリック医薬品使用割合は 78.32% ということで、80% に近づきそうな勢いですね。ただし、被扶養者のジェネリック医薬品使用割合は 67.61% と低迷しています。特に、20 歳以下のお子さんたちの使用割合が軒並み 60% 台になっていて、先発医薬品からの切り替えがなかなか進んでいない状況ですね。

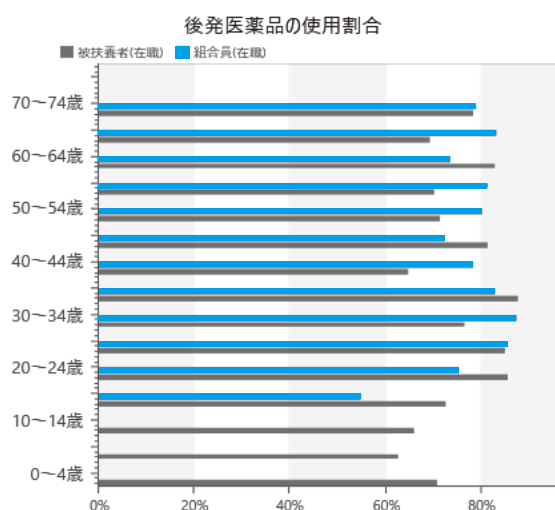
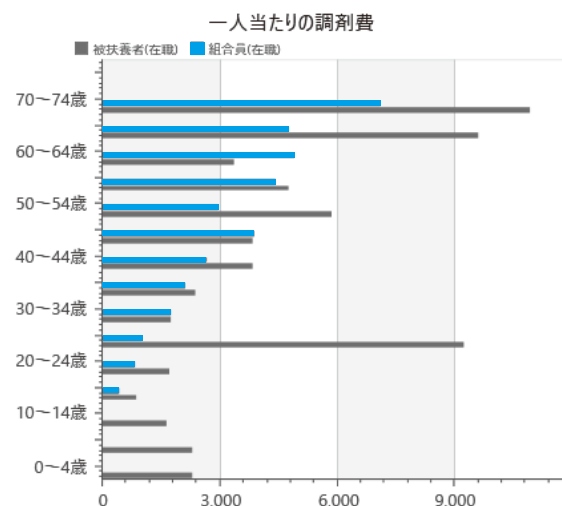
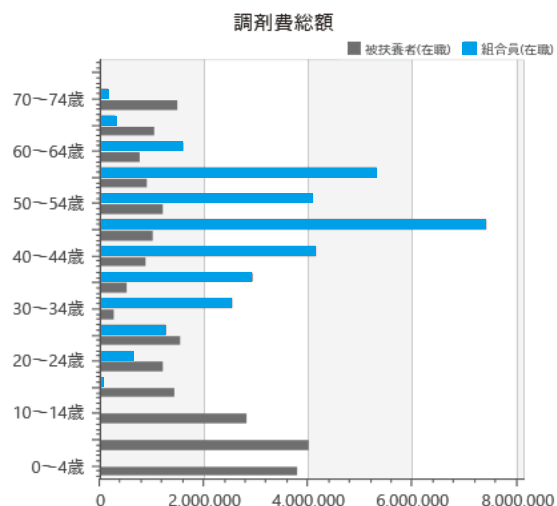
次に、令和 3 年 4 月診療分を見てみると・・・

調剤費

年齢区分	合計			組合員			被扶養者		
	件数	調剤費 総額	1 人あたり 調剤費	件数	調剤費 総額	1 人あたり 調剤費	件数	調剤費 総額	1 人あたり 調剤費
0～4歳	861	3,759,100	2,260	0	0	0	861	3,759,100	2,260
5～9歳	535	3,982,200	2,273	0	0	0	535	3,982,200	2,273
10～14歳	352	2,810,330	1,607	0	0	0	352	2,810,330	1,607
15～19歳	217	1,441,100	813	6	29,470	409	211	1,411,630	830
20～24歳	194	1,787,780	1,224	94	603,150	793	100	1,184,630	1,692
25～29歳	262	2,765,680	1,923	219	1,253,200	984	43	1,512,480	9,222
30～34歳	339	2,778,770	1,727	302	2,531,970	1,726	37	246,800	1,738
35～39歳	333	3,413,810	2,126	274	2,909,720	2,093	59	504,090	2,334
40～44歳	435	4,978,500	2,775	372	4,117,730	2,626	63	860,770	3,809
45～49歳	605	8,398,870	3,847	526	7,407,690	3,854	79	991,180	3,798
50～54歳	502	5,281,130	3,311	442	4,076,960	2,937	60	1,204,170	5,817
55～59歳	519	6,190,200	4,447	444	5,292,370	4,403	75	897,830	4,725
60～64歳	222	2,308,330	4,267	139	1,573,350	4,886	83	734,980	3,356
65～69歳	91	1,302,990	7,897	28	270,050	4,738	63	1,032,940	9,564
70～74歳	97	1,602,650	10,407	9	141,510	7,076	88	1,461,140	10,904
75歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5,564	52,801,440	2,530	2,855	30,207,170	2,640	2,709	22,594,270	2,396

後発医薬品の使用割合

年齢区分	合計			組合員			被扶養者		
	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合
0～4歳	615	70.60%	47.03%	0			615	70.60%	47.03%
5～9歳	360	62.46%	33.96%	0			360	62.46%	33.96%
10～14歳	216	65.92%	40.04%	0			216	65.92%	40.04%
15～19歳	143	72.48%	53.14%	2	54.69%	47.90%	141	72.57%	53.17%
20～24歳	141	80.14%	63.86%	72	75.37%	60.86%	69	85.45%	69.82%
25～29歳	182	85.49%	68.19%	154	85.65%	66.63%	28	84.92%	74.55%
30～34歳	232	85.67%	66.75%	207	87.20%	66.58%	25	76.33%	68.25%
35～39歳	246	83.48%	58.93%	200	82.69%	54.58%	46	87.65%	82.40%
40～44歳	326	76.08%	53.08%	281	78.32%	52.82%	45	64.70%	54.23%
45～49歳	420	73.67%	47.90%	362	72.29%	46.15%	58	81.23%	60.94%
50～54歳	366	78.88%	57.60%	320	80.11%	59.12%	46	71.39%	48.15%
55～59歳	394	79.27%	49.43%	338	81.18%	57.49%	56	70.08%	22.65%
60～64歳	162	77.08%	53.20%	101	73.47%	48.63%	61	82.88%	62.43%
65～69歳	77	72.85%	61.41%	24	83.11%	64.39%	53	69.34%	60.78%
70～74歳	74	78.46%	58.80%	7	78.92%	61.56%	67	78.39%	58.34%
75歳以上	0			0			0		
合計	3,954	76.29%	51.93%	2,068	79.01%	54.73%	1,886	72.06%	47.55%



組合員のジェネリック医薬品使用割合は79.01%ということで、昨年よりもさらに80%へ近づいてきています。また、被扶養者のジェネリック医薬品使用割合は72.06%で、遂に70%に到達することができました！20歳以下のお子さんたちの中でも、70%台を超える年代も出てきましたので、このまま少しずつでもジェネリック医薬品へ切り替える方が増えてきてほしいですね。

皆さまのご協力のおかげで、この一年間のジェネリック医薬品使用割合が全国平均へ徐々に近づいています！これからも引き続き、身体にも家計にも優しいジェネリック医薬品を使っていきましょう！！

